

関西眼疾患研究会 平成20年度事業報告書

平成20年1月1日より平成20年12月31日まで

本年の事業については、平成20年度の事業計画に基づいて実施し、本会の目的達成に努力した。

1. 会員へ向けての定期講演会

1. 1月23日（水）第295回 関西眼疾患研究会特別講演
川瀬和秀 先生（岐阜大学医学部眼科学教室）
「緑内障診断のための眼底読影のポイント」
2. 2月6日（水）第296回 関西眼疾患研究会特別講演
大辻英吾 先生（京都府立医科大学外科学教室消化器外科学部門）
「消化器外科治療の現状」
3. 2月13日（水）第297回 関西眼疾患研究会特別講演
仁科幸子 先生（国立成育医療センター眼科）
「乳幼児疾患の早期診断治療」
4. 3月5日（水）第298回 関西眼疾患研究会特別講演
上田英一郎 先生（京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学）
「アトピー性皮膚炎治療のゴール設定 ―コミュニケーション法、心身医学的アプローチからトラウマケアまでの総括的なケア―」
5. 3月19日（水）第299回 関西眼疾患研究会特別講演
西田幸 先生（東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座）
「角膜のトランスレーショナルリサーチ」
6. 5月7日（水）第300回 関西眼疾患研究会特別講演
白神史雄 先生（香川大学医学部眼科学講座）
「打倒！加齢黄斑変性」
7. 5月19日（水）第301回 関西眼疾患研究会特別講演
國方彦志 先生（東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座）
「小切開硝子体手術 -最前線と可能性を探る-」
8. 6月18日（水）第302回 関西眼疾患研究会特別講演
中尾雄三 先生（近畿大学医学部堺病院眼科）
「視神経炎の新しい考え方 “抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎”」

9. 7月9日（水）第303回 関西眼疾患研究会特別講演
奥田司 先生（京都府立医科大学大学院医学研究科分子生化学）
「転写因子異常と造血器腫瘍」
10. 9月10日（水）第304回 関西眼疾患研究会特別講演
藤井信孝 先生（京都大学大学院薬学研究科ケモゲノミクス分野）
「多因子疾患克服に向けたMedChemからのアプローチ」
11. 9月17日（水）第305回 関西眼疾患研究会特別講演
林篤志 先生（富山大学大学院医学薬学研究部眼科学講座）
「網膜硝子体疾患の現状とこれから」
12. 11月19日（水）第306回 関西眼疾患研究会特別講演
吉村 長久 先生（京都大学医学部 眼科学教室）
「Genome-related macular degeneration」

2. 海外研究者との情報交換会

- Sally Atherton (Executive Vice President, ARVO)
- Joanne Angle (Executive Chief Officer, ARVO)

Dr. Atherton と Ms. Angle は眼科ならびに視覚研究に関する最高機関である ARVO office の中心的人物である。今回は、日本、特に京都における眼科診療研究機関との将来の共同事業の可能性について検討するために来訪した。何度かの懇談会を行った。

- Paul Kaufman (Editor-in-Chief, Investigative Ophthalmology and Visual Science)

眼科最高権威の学術雑誌編集長の Dr. Kaufman の京都来訪を受け、関西眼疾患研究会の会員を中心とした日本の眼科研究を紹介し、日本、ひいては関西の研究活動の向上を目指して討論会と懇談会を行った。

3. オープンフォーラム（共催：参天製薬株式会社・京都眼科医会）

1. 第31回京都眼科フォーラム

平成20年2月16日（土） テーマ：『緑内障を斬る』

中村元（京都大学大学院医学研究科眼科）

「Photopic negative response (PhNR) の臨床応用」

岩瀬愛子（多治見市民病院）「疫学調査から日常臨床へ」

杉山和久（金沢大学大学院医学系研究科脳医科学専攻視覚科学）

「緑内障手術の現状と将来」

2. 第32回京都眼科フォーラム

平成20年7月19日（土） テーマ：『身近な眼形成・涙道疾患』

嘉鳥信忠（聖隷浜松病院眼形成眼窩外科）「眼形成領域における腫瘍性疾患」

杉本学（すぎもと眼科医院）「涙道疾患（低侵襲涙道再建術）」

渡辺彰英（京都府立医科大学眼科学教室）「身近な眼瞼疾患への surgical approach」

4. 眼科診療アップデートセミナー（共催：ファイザー株式会社）

平成20年3月15日（土）～16日（日）国立京都国際会館

3月15日（土）

【小児疾患】「先天性眼疾患」 初川嘉一（大阪府立母子保健総合医療センター）

「未熟児網膜症」 東範行（国立成育医療センター）

【白内障・屈折】

「屈折手術」 清水公也（北里大学）

「多焦点眼内レンズ」 大木孝太郎（大木眼科）

「眼内レンズ手術ポイント」 大鹿哲郎（筑波大学）

【角結膜】

「コンタクトレンズと感染症」 大橋裕一（愛媛大学）

「重症アレルギー性疾患への対処法」 海老原伸行（順天堂大学）

「円錐角膜への対処法」 前田直之（大阪大学）

「角膜内皮とその疾患」 木下茂（京都府立医科大学）

【抗加齢】

「目に効果のある食物」 坪田一男（慶応義塾大学）

3月16日（日）

【緑内障】

「抗緑内障薬サマリー」 新家眞（東京大学）

「緑内障手術適応の考え方」 桑山泰明（大阪厚生年金病院）

「Outflowを考える」 谷原秀信（熊本大学）

【神経眼科】

「視神経症の診断と治療」 中尾雄三（近畿大学堺病院）

「眼瞼下垂の診断と治療」 三村治（兵庫医科大学）

「眼腫瘍の診断と治療法」 嘉島信忠（聖隷浜松病院）

【網膜】「加齢黄斑変性の診断と治療」 飯田知弘（福島県立医科大学）

「糖尿病網膜症の疫学と予防」 石橋達朗（九州大学）

「網膜静脈閉塞症の診断と治療」 張野正誉（淀川キリスト教病院）

「原因不明な内眼炎の診断」 望月学（東京医科歯科大学）

5. 視覚再生フロンティア研究発表会

平成20年5月31日(土) ホテルフジタ京都1F藤の間

- 中村隆宏 「角膜再生への挑戦10」
稲富勉 「新しい角膜手術に対する思い」
川崎諭 「角膜上皮細胞における膜貫通型コラーゲン様タンパク質BP180の存在意義」
松田彰 「アトピー眼合併症」
上田真由美 「Stevens-Johnson症候群の病態解明を目指して」
横井則彦 「線維組織充填涙点閉鎖術 究極のゴールをめざして」
成瀬繁太 「眼圧計の進歩」
安原徹 「手術技術に関する意識向上の意義とトレーニング法の共有化」
米田一仁 「TGF- β を用いたCNVの新しい治療法」
丸山和一 「眼血管・リンパ管におけるpodoplaninの役割」
外園千恵 「Stevens-Johnson症候群の臨床病型、素因、治療について」
森和彦 「流出路再建術のその後 360度ロトミーの試み」
渡辺彰英 「眼窩骨折整復術における眼窩骨膜の再建と再生」
池田陽子 「緑内障疾患マーカー解析進行報告」
羽室淳爾 「謎を解く；涙液に含まれるアミノ酸」

平成20年12月20日(土) ホテルフジタ京都1F藤の間

- 今井浩二郎 「LOXL1遺伝子プロモータ領域の多型について」
谷岡秀敏 「DSAEKおよびIEKに使用した海外ドナー角膜の組織学的検討」
小嶋健太郎 「硝子体サンプル解析による診断について」
高橋浩昭 「bFGF含浸ゼラチンマイクロスフィアの前房内投与による角膜内皮創傷治癒効果の検討」 山田潤 「還元型GSH誘導による網膜疾患の治療と予防の可能性」
奥村直毅 「角膜内皮治療に向けて」
寺井和都 「角膜の硬さ測定法の開発続報」
伴由利子 「角結膜上皮タイトジャンクションの機能に影響するのは何か？」
福岡秀記 「角膜輪部デルモイド」
高岡真帆 「結膜腫瘍におけるLRIG-1の発現」
古泉英貴 「Fundus Autofluorescence-Today and Beyond」
上野盛夫 「胚性幹細胞から神経系細胞への分化誘導」
羽室淳爾 「Beyond the current dogma:
Plasticity of Macrophage Functions AND Treg vs Th1/2/Th17」

6. 情報提供

- ・定期講演会の記録DVDを下記関連病院へ回覧した

京都市立病院 京都第二赤十字病院 京都第一赤十字病院 洛西ニュータウン病院
済生会京都府病院 井出眼科病院 藤枝市立総合病院 国立長寿医療センター病院
西陣病院 バプテスト眼科クリニック 社会保険京都病院 済生会中津病院
済生会吹田病院 裕生会みどりが丘病院 町田病院 済生会滋賀県病院
大津市民病院 琵琶湖大橋病院 京都府立与謝の海病院 公立南丹病院
明治鍼灸大学附属病院 舞鶴医療センター 舞鶴赤十字病院 綾部市立病院
市立福知山市民病院 公立山城病院 愛生会山科病院

- ・講演会に参加できなかったが、閲覧希望のある会員に講演DVDを貸し出した
- ・ホームページを用いて本研究会の活動内容や活動成果を公表した